宮城舞台技術者協会 令和4年理事会　議事録

日時	2022 年　1 月　18 日　13 時　30 分 ～　15 時　00 分	場所	株式会社東北共立様　ミーティングルーム
議題	・事業部会より「公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について」 ・会計報告 ・予算案、事業案の作成 ・総会の議題内容の確認等		

出席者	岸浪行雄	菊地孝	石井忍	橋本徳郎	今野芳明
	羽田貞浩	渋谷昌弘	相沢俊一		
	伊藤幸夫（事務局）	小林道子（事務局）	斎藤環江（事務局）		
				運営委員、事務局 11名	

決定事項

■公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について

・各会館に設置させていただく為に、館長あて文章校正。

・目立つように一斗缶にて設置。一斗缶に貼るステッカー表示等のデザインを橋本理事にお願いする。

・最初の準備として、一斗缶は20個程度作成

■総会の開催場所決定について

・株式会社東北共立様　ラボ　にて

■公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について

〇石井理事より、理事の皆さんに状況説明 （資料参照）

・趣旨説明、回収内容等

・各会館に設置させていただく為に、館長あて文章校正。（石井理事）

・回収箱をどのような形にするか → 目立つように一斗缶で設置する。

・一斗缶に記載する内容のデザインを橋本理事にお願いする

・作成個数は、当初20個程度とする。

■会計報告について

〇斎藤事務局員より、令和3年度の会計報告を行う

〇令和4年度の予算を考える （別紙参照）

・3月の講習会の会員の補助も検討し、予算案を作成。

会議内容

■総会の議題について

〇新年度の事業案について

・金属回収事業の始動。

・運営委員会の開催　→　昨年度と同等の頻度開催。

・3月に会員（従業員含む）対象の、足場とフルハーネス講習会の開催。

会員に対して、講習会費用の一部の補助、並びに購入にあたり割引等の配慮はできないものか。

→　予算案に計上する。フルハーネスの購入にあたっては、全照協の会員である東北共立様経由で購入できる体制を整える。

・会員交流をはかる為に、2ヶ月に1度程度でサロンを開催する。

・各部会の開催　→　各部会長に一任する

〇昨年3月の定例会の際にも示しましたが、現状の理事のありかたを見直しについて。

・定款に記載の通り、法人会員全員が理事に就任していただいていますが、個人会員の皆さんにも、是非理事に加わって

いただきたい。選任方法も含め総会にて、審議をお願いしたい。

依頼書（名称は依頼書で良いか？）

○○劇場　○○館長様　舞台技術ご担当者様

時候の挨拶と日頃の御礼

２０２０年はじめに我が国でも猛威を振るい始めた「新型コロナウィルス」によってもたらされたコロナ禍により宮城県の劇場やコンサート会場等を主たる仕事の場としていた私達 宮城の舞台技術者も全く先の見通せない状況に追い込まれました。そこからの脱却や互助そして今後を見定めるべく２０２０年　月に「宮城舞台技術者協会」を　　社・　人で立ち上げ、行政への陳情やどうすれば催し物が安全・安心に再開出来るかを探るシンポジウム「劇場へ行こうコロナ時代のバックステージツアー」等を開催して参りました。

御存知の通りその後コロナ禍は一進一退を繰り返して今日現在に至っておりますが、コロナ禍以前の様に催し物を開催出来るとはまだまだ言い難い状況ではあります。ですが２０２２年秋頃からは少しずつ劇場やコンサート会場での仕事も戻りはじめ、一頃の様な全く先が見えない状況からは少し脱しつつあると感じられる様になりました。

そして不安と返済を抱えながらも私達は考えました。「仕事と収入さえ戻ればそれで良しとするのか？」と。

ちょうどその頃世の中では国連が提唱する「持続可能な発展目標（SGD'S）」が話題になっておりました。

顧みれば私達の仕事、例えば大道具業はその作業過程で多くの素材を消費し、木材はじめ金属やプラスチック等ありとあらゆるゴミを発生させる事で成り立っています。また照明・音響業は大量の電力を消費しないと成立しない場合が多い業態です。

コロナ禍によってもたらされた有り余る時間とSGD'Sの理念は私達に色んな意味で「このままで良いのか？」との問いを投げかけてきました。

残念ながらSGD'Sが提唱する１７の理念全てを現状の私達の業態で実行する事は正直申しまして難しいと思われます。それどころか一部の理念には逆行してしまう業態の上に私達の生活が成り立ってる事も事実です。

ですが、或はだからこそ少しでも社会[世界]の為に出来る事は無いだろうか？観客席の拍手と笑顔以外にも私達が皆さんにお届け出来る事は無いだろうか？

そんな折ある会議で協会員の一人から、コンサート等で発生するダメになったギターの金属弦を集めてそれを換金して発展途上国の井戸掘りの資金の一部として寄付をしているミュージシャンがいるとの話がもたらされ、そのことをヒントに更に検討を続けました結果、宮城舞台技術者協会にとっての持続可能な発展目標を以下の様に設定するに至りました。

私達「宮城舞台技術者協会」は劇場・コンサート会場・関連する製作場から排出される金属廃棄物を譲り受けてそれを換金して、例えば植樹事業への寄付と言う形で社会[世界]に還元させて頂けないかとの考えに至りました。

そこで常日頃から大変お世話になっております劇場・コンサート会場・ライブハウス・稽古場や作業施設の関係者の皆様に以下の御協力を賜わりたく、ここに謹んでお願い申し上げる次第です。

１、各施設様に於いて発生する金属廃棄物[当面の間は釘とネジ・ビスとさせて頂きます]のストック。行く行くは通函をご用意して各施設様に設置させて頂ければと考えております。
２、不定期になりますが当協会員が回収にお伺いする際の御対応。回収方法は当協会員が折々にお伺いした際に状況を見てお声掛けさせて頂く予定です。
３、ストックが容量オーバーになりそうな際の当協会への御連絡。

以上となります。

本年[２０２２年]を試運転期間とさせて頂き、年末か年度末[２０２３年３月]に収集量・換金額・寄付の詳細等をご報告させて頂く予定でおります。

創造活動に伴う廃棄物の発生は減らす努力はしなければなりませんが、残念ながら[ゼロ]になる事は無いだろうと思いますし、[ゼロ]にする為に創造活動を止める事もしてはいけないと思います。半永久的に続くことになるかもしれな

い劇場関連施設からの金属廃棄物回収に御理解と御協力を賜われれば幸甚でございます。

年月日

宮城舞台技術者協会

令和3年度　会計報告書

期　間	2021年　1月　1日　～　2021年　12月　31日
収入額	477,901 円
支出額	155,790 円
差引残高・次年度繰越金	322,111 円

■　収入の部　　（単位:円）

項目名	予算額	収入額	増減額	備考欄
前年度繰越金	195,900	195,900	0	
年会費(法人会員)	170,000	180,000	10,000	予算17社(1社:個人→法人へ変更)
年会費(個人会員)	75,000	69,000	▲ 6,000	予算25社(1社:個人→法人へ変更、1社:退会)
感染症対策フェア2021返金	0	33,000	33,000	4/13～14開催予定分
受取利息	0	1	1	
合　計	440,900	477,901	37,001	

■　支出の部　　（単位:円）

項目名	予算額	支出額	増減額	備考欄
会議費	40,000	29,382	▲ 10,618	1/13会議費、2/18総会費
広告宣伝費	50,000	0	▲ 50,000	
旅費交通費	30,000	0	▲ 30,000	
通信費	150,000	22,756	▲ 127,244	切手代、HPサーバー管理費
租税公課	5,000	0	▲ 5,000	
事務費	80,000	0	▲ 80,000	
消耗品費	30,000	103,102	73,102	協会ゴム印、PC・プリンター購入費
支払い手数料	5,000	550	▲ 4,450	振込手数料
雑費	10,000	0	▲ 10,000	
予備費	40,900	0	▲ 40,900	
合　計	440,900	155,790	▲ 285,110	

上記のとおり報告いたします。

令和　4年　　1月　　18日

宮城舞台技術者協会

代表 岸浪　行雄

事務局長 今野　芳明